

空 楽 々

[555]

2017

夏



2017年度 空デ春イベントから



久美浜遊学旅行 2017

今年度からカリキュラムが変更となり、例年よりも慌ただしい新年度となりましたが、4月に第一回目の新入生ガイダンスが京都・東京それぞれで開催された後、ゴールデンウィーク期間中の5月3日から5日までの三日間には、毎年恒例の「久美浜遊学旅行」が久美浜セミナーハウスで開催されました。



1 久美浜遊学旅行とは

「久美浜遊学旅行」とは、京丹後市久美浜町にある大学の施設「久美浜セミナーハウス」を貸し切って、学生・教員関係無く、それぞれが好きな事しながら、学び遊び、そして食べて（飲んで）時間を過ごすというイベントです。最終日には三日間の成果を発表する時間もありますが、事前に準備していたことを実行するだけでなく、久美浜といういつもと違う環境で、手を動かし、足を運んでみると、遊学旅行に参加した当初の目的以外にも好奇心が生まれて、最後には予想もしなかったものを制作してしまうということもあります。勿論、食事の準備や後片付けなどの作業もみんなで協力して行いながら三日間を過ごします。

久美浜ってどこ？

久美浜町は京都府北西の京都府京丹後市の町で、日本海に面した兵庫県との県境にあります。

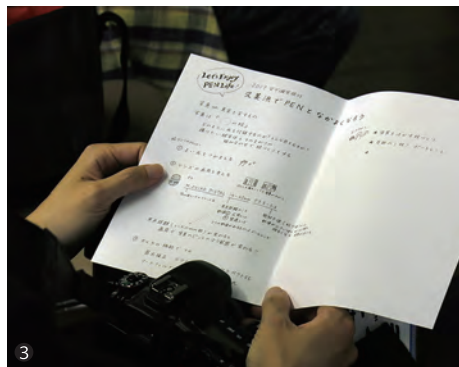
山陰海岸国立公園と山陰ジオパークの中に位置し、日本海と汽水湖である久美浜湾を望む位置にあることから、風光明媚で、また海の幸に恵まれたところです。



昨年までは京都駅に集合して貸切バスで移動していましたが、久美浜町内にタクシーが復活したため、今年は久美浜セミナーハウスの最寄駅である京都丹後鉄道の久美浜駅へ現地集合となりました。ゴールデンウィーク後半の連休の初日となったため、現地までの移動は一苦労だったかと思いますが、無事に参加メンバーが集合した後は、タクシーを使って久美浜セミナーハウスへ移動しました。

セミナーハウスに到着した後は、自己紹介と部屋割りを決めた後、田村先生による恒例の「久美浜での過ごし方」のレクチャーが行われ、三日間の遊学旅行がスタートです。

今年も定員を超える応募がありましたが、参加された皆さんは、初日の夕食の準備が始まるまで、新鮮な気持ちで久美浜の時間を楽しんでいました。



- 1: レクチャー中の田村先生
- 2: 気持ちの良いテラスでデッサン中
- 3: 写真部はお手製のテキストを配付
- 4: 写真部のみなさんが光の見え方を体験中
- 5: 教員（右から田村先生、伊達先生、岡本先生）たちもそれぞれの時間を過ごします
- 6: シングルスNo.1と言われる卒業生の西川さんと上田先生が対戦中



遊学旅行の過ごし方も、デッサンをしたり、海岸で拾った漂流物や貝殻などを使ってオブジェを作成してみたりと様々です。2016年度生を中心とした「写真部」は、初日に在校生が先生となってメンバーへ撮影の簡単なレクチャーをしたあと、海岸や付近の集落で各自被写体を見つけて撮影を行い、二日目は撮影した写真を印刷・製本することで作品として纏めました。2016 年度卒業生の斎藤千秋さんは、卒制で手がけたタッセルキーホルダー作りのワークショップを開いてくれました。また、昨年度までは「凧部」が活発に活動していましたが、なんと、今年度は「パンケーキ部」に変わり、パンケーキを焼くだけに留まらず、様々な活動をしていました。

初回の遊学旅行で教員たちが在り合わせの材料与テーブルを組み合わせて卓球台を作ったのが卓球大会のスタートでしたが、今年も夕食後に激しくも楽しい(?) 戦いが連夜繰り広げられました。

今年は滞在中の食事で何度か市販のお弁当が供されましたが、お弁当以外にも上田先生の手料理が振る舞われ、食べきれない状態となってしまいました。夜には皆でバーベキューでいろいろな食材を焼きながら楽しい時間を過ごしました。去年はサザエが破裂したり、焼きそば用のお肉がバーベキューでやかれてしまったりなど、食にまつわる様々なハプニングがありましたが、今年は無事に(?) 終わったようです。

最終日には、まずは川合先生の主催する「2017 遊学句会」が行われ、有志の投句した句が順番にひらかれていきました。その結果、岡本先生の句が特選に選ばれ、歳時記とともにその年の特選の方に引き継がれている俳句の入門書が贈られました。

最後の締めくくりとして、三日間の成果発表が行われ、期間中に行われたワークショップや教員のアドバイスを受けながら制作した作品など、それぞれの成果が披露されました。今回、2017 年度新入生でありながら単身参加された森本さんには、寺尾先生から遊学旅行中に制作したオブジェがトロフィーとして贈られました。



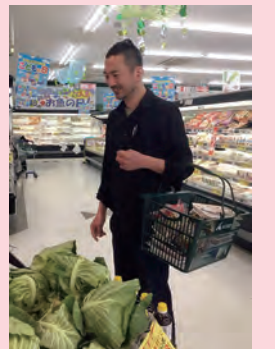
- 7: バーベキューでは伊達先生がライトをセッティング
- 8: 上田先生と宮地先生、2016年度卒業生は日本酒で乾杯！
- 9: ちょっとした空き時間の中に「遊び」を見つけて楽しんでいます

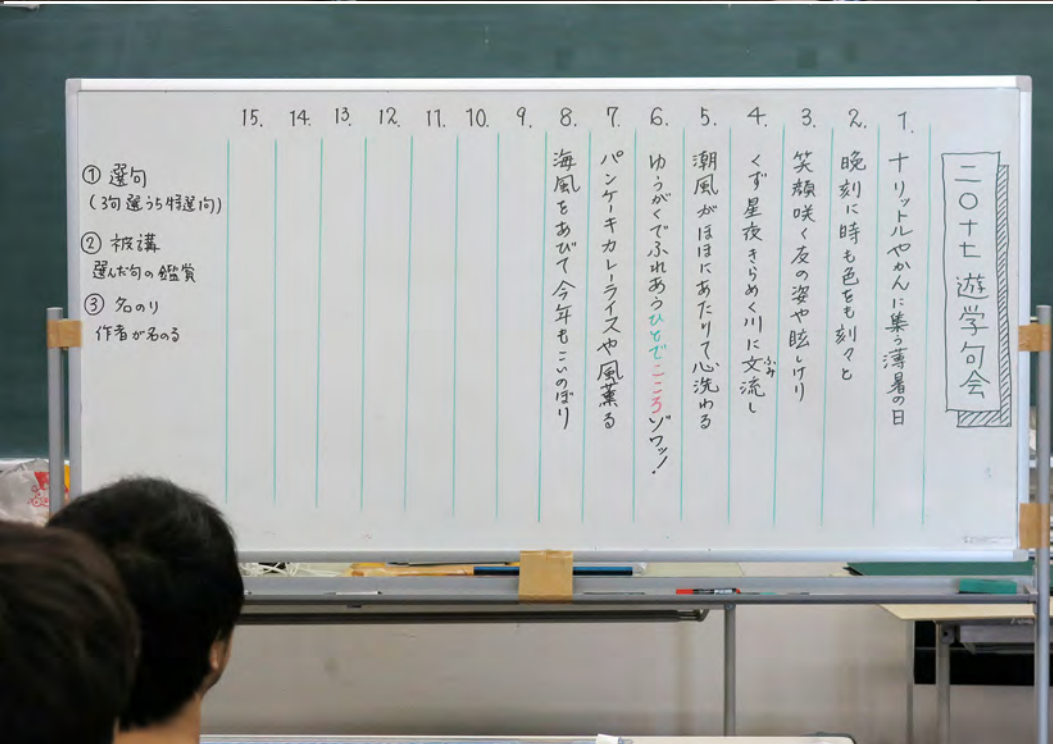
空デと言えば・・・

食うで

遊学旅行中の「食」を支えるのが料理長の上田先生。予算や店頭で並んだ旬の食材を考慮しながら三日間のメニューを決めていきます。毎年、二日目のお昼ご飯には初日から下準備をしたカレーが振る舞われます。毎年違ったカレーが出てくるので、どんなカレーになるのが楽しみです。また、毎年ビザ窯が設置され、寺尾先生が「ビザ窯のおじさん」として焼きつけています。

- 左: 田村先生のカレーは目玉焼き載せ!!
- 下: 寺尾先生が製作した鉄製のビザ窯は今年も大活躍です
- 右: 上田先生が楽しそうに買い出し中 (写真提供: Nさん)





airUキャンパス 空デコースサイト リニューアル

2017年度からサイバーキャンパスが「airUキャンパス」へリニューアルし、学生メニュー・airUも「airUマイページ」へとweb環境が統一されたことに伴い、空デコースサイトもリニューアルしました。

既に利用されているとは思いますが（利用していないと本『空楽々』も閲覧されていないはず...）、airUキャンパスとコースサイトを紹介します。



airUキャンパスのチェックポイント

- POINT**
「お知らせ」では事務局からの連絡事項が掲載されています。外苑キャンパスの方はお屋のお弁当販売のスケジュールが掲載されますので、要チェックです。「イベント」では学内・学外イベントや学習会開催のお知らせが掲載されますので、興味の有る方は足を運んでみてください。
- POINT**
「コミュニティ」には大学公認のコミュニティとみなさんでつくるフリーのコミュニティの二種類があります。空デコースではオフィシャルコミュニティとして「KUDE京都外苑おもてなし」コミュニティが登録されています。
- POINT**
今年度から4ターム制になり、今までより細かなスケジュール管理が必要になりました。airUキャンパスの「カレンダー」も活用して、申し込み期間を忘れないようにしましょう。
- POINT**
「アーカイブ」では今まで発行された「卒業制作・卒業研究 作品・論文集」がリンクされています。自身の卒業制作への参考になるでしょう。また、「雲母」のバックナンバーもリンクされています。過去の「雲母」にはテキスト課題に対して先生たちから学習の取り組み方のアドバイスが掲載されています。内容が変わった課題もありますが、考え方など参考になる部分があると思いますので、時間があれば一読してみてください。
- POINT**
「リンク」は各コースサイトへの入り口となります。空デコースのコースサイトへの入り口もココになります。また、画材や製図用具などを扱う学内ショップAD STORE・学外ショップへのリンクなど学習に役立つサイトへのバナーが貼られています。そして、「KUAD PRODUCTION」にはスクーリング風景などの各コースの話題が、「アネモメトリ」には教員・卒業生の記事やコラムが掲載されることがありますので、時々チェックしてみてください。

「アネモメトリ」に掲載されている卒業生の記事

■風信帖

#35：安田侃の「こころを彫る授業」
（姉帯美保子・2012年度卒業生）

#43：パンから広がるまちづくりー北海道浦河町
（姉帯美保子・2012年度卒業生）

■風を知るひと

#2：（無題）（福村憲二・2006年度卒業生）
#3：波紋の旅へ（澤入美沙・2010年度卒業生）

#7：まちを切り出す/世界を捉える
（小川綾子・2011年度卒業生）

#8：蔵の声に耳をすます
（宇坪涼美・2007年度卒業生）

#22：都会の畑を耕しながら、感性の芽を育てて
（五十嵐洋子・2011年度卒業生）

#24：ナチュラルプランナーとして、ひとと自然の和を取りなす（北村謙吾・2013年度卒業生）

#31：無形の風景をめぐる。スタンプハウスが届ける心のお土産（姉帯美保子・2012年度卒業生）

#37：自由に考え、粘り強く“そうぞう”する子どもを育む（緒方希・2012年度卒業生）

#57：外房の旬野菜を使った“やさいごはん”で地域の魅力を伝える（片岡智・2015年度卒業生）



空デコースサイトのチェックポイント



- POINT**
新しいソフトウェアの使い方はスクーリングで一度やっただけではなかなか修得できないものです。映像教材を見ながら繰り返し実行して、しっかりと身に付けましょう。
- POINT**
airUキャンパス「学びのリンク」と同じく制作に関わる製図道具や模型制作道具、各種材料を購入できる店舗へのリンクを掲載しています。
- POINT**
「研究室だより」では本冊子「空楽々」のバックナンバーがご覧頂けます。
- POINT**
ガイダンスや説明会に参加出来なかった方はここから資料をダウンロードして活用しましょう。
- POINT**
研究室からTwitterで季節の便りやお役立ち情報が発信されています。



上下とも：映像教材の映像から

KUDEオープンゼミ



8月はPC講習会と同時開催でした（下）

オープンゼミでは、履修方法やテキスト科目、その他なんでも相談を受け付けています。気軽に相談に来てください。

■京都

日時：2017年9月9日（土）14：00～17：00
会場：瓜生山キャンパス人間館2階NA206教室
担当教員：上田篤、岡本正人、他（予定）

■東京

日時：2017年9月23日（土・祝）14：00～17：00
会場：東京外苑キャンパス1階エントランスホール
担当教員：川合健太、他（予定）
※事前申し込みは不要です。参加希望者は時間内に直接会場へお越しください。また、日程・会場が変更となる場合がありますので、コースサイトで事前に確認してください。
※9月は「ドリル相談会／大履修相談会」と同時開催です。（京都・東京とも）

ドリル相談会／大履修相談会



10月から後期が始まりますが、始まる直前のタイミングで「ドリル相談会＆大履修相談会＆オープンゼミ」の豪華3点セット！、の相談会を開催します。履修計画の見直しや卒業制作着手の要件など、どんな内容の相談にも応じます。また、卒業生にも同席いただきますので、卒業制作に関する具体的なお話を伺ってみるのも良いと思います。事前の申し込みは不要です。

■京都

日時：2017年9月9日（土）14：00～17：00
会場：瓜生山キャンパス人間館2階NA206教室
※教室は10:00から開放していますので、自習にご活用ください。（教員も覗きに行くかも。）
担当教員：上田篤、岡本正人、他（予定）

■東京

日時：2017年9月23日（土・祝）14：00～17：00
会場：東京外苑キャンパス1階エントランスホール
担当教員：川合健太、他（予定）

HOME COMMING DAY 2017



昨年度の一コマ
卒業生・片岡さんのお店で大満足の教職員
※写真提供：片岡智さん（2015年度卒業生）

昨年度初めて開催した「第1回 学校法人 瓜生山学園 ホームカミングデー」は、瓜生山キャンパスを会場として、懐かしい友人や先生方との再会の場となりました。今年度は学園祭「大瓜生山祭」と同時開催となり、様々なイベントが開催されます。「卒業生がいるお店」の出張店舗（<http://sotsu-omise.kyoto-art.ac.jp/>）など、在校生が参加出来るイベントもありますので、お時間のある方は足を運んでみてください。
なお、春秋座イベントは事前の参加申し込みが必要です。卒業生の方でイベント参加を希望される方は、瓜生山同窓会オフィシャルサイト（<http://www.uridou.jp>）へアクセスしてください。

■ホームカミングデー2017

日時：2017年9月17日（日）（大瓜生山祭の2日目）
場所：京都造形芸術大学 瓜生山キャンパス
当日のプログラム：
12:00 式典会場（京都藝術劇場 春秋座）開場
12:30 学校法人瓜生山学園 ホームカミングデー2017 開会
13:30 懇親会
14:30 春秋座イベント開始（希望者のみ）
16:30 春秋座イベント終了

空間演出デザインコース特別講義2017

空間演出デザインコースでは、第一線で活躍されている方を講師としてお招きして、毎年夏と冬に京都・東京で特別講義を開催しています。受講料無料、事前申込不要で、他のコースの方・一般の方どなたでも聴講できます。（勿論、卒業生も）
この夏の特別講義は下記の日程で開催しています。講義の模様については次号で紹介を予定しています。



■京都（瓜生山キャンパス人間館4階NA413教室）
「流行」を科学する。デザイナーの発想の在り処
○日時：2017年8月12日（土）18:00～19:30
○講師：松宮 宏 先生

京都では、デザイナーたちは流行を解釈しながら仕事をしています。新しい価値を表現するからこそプロの仕事となるからです。しかし何をもって流行と言うのでしょうか。「流行だけがファッションではない」「自分らしく生きるのがいい」など、価値観は多様化しています。デザイナーたちは発想を得るためにどんな情報にアクセスしているのでしょうか。2017 春夏ファッションビジネスの状況や、ミラノサローネ 2017 からの報告などをひもときながら、流行の源泉を探る講義です。ブランドとは？ブランディングとは？評価されるデザイナーの役割は何か？についてお話いただきました。



京都での特別講義風景

松宮宏先生のプロフィール
作家。デザインビジネスコンサルタント。ブランディング、コミュニケーションデザイン、空間デザインのディレクションやストーリー開発のコンサルタントを行う。アメリカの企業で社長経験あり。著作『秘剣こいわらい』『燐り亦蔵』『さくらんぼ同盟』（講談社）、『はるよこい』（PHP）、『まぼろしのパン屋』『さすらいのマイナバー』『まぼろしのお好み焼きソース』（徳間書店）

■東京（外苑キャンパス205号室）
「ブランディングデザインのおはなし」
○日時：2017年8月19日（土）18:00～19:30
○講師：成田 可奈子 先生

東京では、ブランディングデザイナーとしてさまざまな企業や商品のブランディングデザインを手がける株式会社エイトブランディングデザインの成田可奈子先生にブランディングの考えやその背景、デザインする上で大切にしていることなど、事例を通して現場の生のお話を語っていただきました。成田先生は今年度から新規開講された学部共通専門教育科目（TR 科目）「ブランディングデザイン論」を担当されています。今回の講義では、より実践的なブランディングデザインに触れることができたのではないのでしょうか。



東京での特別講義風景

成田可奈子先生のプロフィール
神奈川生まれ、富山育ち。京都工芸繊維大学卒業後、デザイン会社を経て、2006年エイトブランディングデザインに入社。企業のブランド開発、商品開発、店舗開発など幅広いジャンルでのデザイン活動を行っている。
<http://www.8brandingdesign.com/>

編集室から



雨は降らねど暑い一日でした

- 今回の表紙は久美浜遊学旅行での一コマ。川合先生（ドヤ顔!?!）が持っているのは大学傍の雲母坂に因んで命名された老舗漬物屋さんの「雲母漬」です。
 - 東京は8月1日から連日雨が降るという記録的な月となりましたが、外苑での「実空間の想像と創造」スクーリングでは幸いにも雨が降らず、無事に屋外での展示と講評が出来ました。空デの晴女・晴男に感謝!!
 - 春号の発行時期遅延の余波で夏号の発行が立秋を過ぎてしまいました ... 今年度は通信教育部が開設してから20年の節目の年となることから、夏から冬にかけて様々なイベントが目白押しとのことですので、それらのイベントを追いかけつつ、秋号から何とか巻き返しを図りたいと思います。開設20周年記念企画の詳細については、airUキャンパスや「雲母」をご確認ください。（森）
- 【表紙の色 若竹（わかたけ）】



もてなし時間

空デはつづくよ

空デを卒業して一年半。恐る恐る足を水に浸してパシパシとした波紋が少しずつ広がっている様に思います。空デで出会った皆さまにサポートいただき、いろいろ体験をしています。京都造形芸術大学に絡んだ出来事では、

外苑キャンパスでのお弁当販売

外苑キャンパスのまわりは食事をするにはちよつと不便です。課題の制作に追われている時など限られたお昼休みの間に食事のことを考えるのはちよつと辛い。仲間と交流を深める貴重な時間であつたりもしますよね。

京都造形芸術大学 40th 記念式典

千葉から京都までフードトラックで移動して、「食でアートを実践する人」として声をかけていただきました。

日本文化芸術財団へのケータリング

奨学金制度を利用し芸術の表現を学ぶ方々が集まるアートのワークショップにてお食事のご提供をしました。

特に多くの空デの皆様を知ってもらいたい事は、「いちほらアート×ミックス 2017」という芸術祭に参加させていただいて「[ICECREAM? SALAD]」という食でアートを楽しむ企画と空間演出を担当いたしました。この企画は「空間体験のデザイン」科目を担当している熊野森人先生に協力いただいています。

見た目はアイスクリームなのですが、すべて野菜でできたサラダです。茹でたジャガイモをつぶしたものに、千葉県ではポピュラーな味噌ピーナッツを和えたものが

イチオシでした。食べた人はとても驚いてくれました。ただ、あまりにかたがアイスクリームにそっくりすぎたので、アイスクリームの味を期待した小さな子どもがっかりさせてしまったのが反省点です(笑)

僕は卒業した後もどこか空デに居るような感覚があります。こうして文章を書いたり、授業を覗かせていただけたら、学生さんたちに声をかけて頂いたり、空デのみなさんのキラキラした表情に僕はまた頑張ろうといつも勇気をもらっています。「こんなことしたよ」とお話ししたいし、聞かせてほしい。空デで身につけたデザイン力で、問題をみつめて解決する。みんなでそんなことを続けていけたらいいと思っています！

これからも、宜しく願っています。片岡サトシでした(笑)



二〇一五年度卒業生 片岡 智
(文・写真)